



中之島だより

令和3年9月号

和歌山市立中之島小学校



いよいよ2学期スタート

【校長 太田 謙二】

昨年は、お盆の間だけの夏休みでしたが、今年は、新型コロナウイルスの影響で延期もあり、長い期間のお休みとなりました。そして、いよいよ今日、9月1日から2学期がスタートしました。子供たちの明るく元気な姿が、校庭に戻ってきました。夏休み中は、厳しい暑さの日や梅雨のように雨が降り続く日もありましたが、子供たちに大きな事故や病気もなく、2学期の始業式を迎えることができ大変うれしく思っています。

さて、今年の夏は、「東京2020オリンピック」が開催されました。連日アスリートの技に目が釘付けでした。ソフトボールの13年ぶりの金メダルや野球の悲願の金メダル。新競技のスケートボードでは、本県の四十住選手が金メダルを獲得するなど、日本の選手が大活躍しました。

メダルの獲得は、とてもすばらしい成果だと思います。が、メダルが獲得できたとか、できなかったではなく、そこに至るまでの努力の過程や最後まであきらめない姿に感動しました。



また、8月24日からパラリンピックが開催されています。様々な障害のあるアスリートが、困難なことがあっても限界に挑戦し続ける姿に、連日驚き、感動し、刺激を受け、改めてスポーツのすばらしさを感じています。

今日からの2学期は、一番長い学期で、運動会や6年生の修学旅行、5年生の合宿など各学年たくさんの行事が予定されています。学習面でもしっかりと取り組んで、自分で「がんばった!」と、言える2学期にして欲しいと思います。



ただ、新型コロナウイルスの感染が全国で爆発的に拡大しており、近隣の府県を含め、多くの都道府県で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出されています。和歌山県も連日多くの感染が発表され、今まで以上に気を許せない状態だと思っています。感染症対策をより徹底した上で、教育活動を進めていかなければならないと考えています。

子供たちが、安全に充実した学校生活を送ることができるよう、保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ2学期もご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。